

2 安全指導（日常的な安全指導）

(1) 日常的な安全指導（一声指導）、実施の場と時間

日常的な安全指導は、「必ず指導する基本的事項」を確実に身に付けさせるために、日常的な教育活動の中で、繰り返し一声掛ける指導のことであり、「一声（ひとこえ）指導」と言う。（P.70～85「10 一声事例」参照）

全校生徒が集まる機会での一声指導



朝の会や、帰りの会での一声指導



[実施の場と時間]

【日常的に行われる教育活動】

朝の会や帰りの会、給食の時間、ショートホームルーム等

(2) 一声指導のねらいと実施におけるポイント

一声指導では、児童・生徒等にどのような力を身に付けさせたいか、ねらいを明確にすることが必要である。一声指導には、「必ず知っておかなければならないことを確認させるための一声指導」と「適切な意思決定や行動選択ができるように、意味を考えさせるための一声指導」がある。ねらいに即した一声指導が行えるよう理解しておくことが大切である。

その上で、季節や学校行事、事件・事故の発生傾向等に照らして、「どの時期に」、「どのような一声を掛けるのか」、年間を見通して、計画的に指導することができるようにしておくことが重要である。また、「安全学習」や他の教育活動における「安全指導」との連携を重視すること、指導の内容、方法、時期、回数などについて十分検討し、地域の環境や児童・生徒等の発達の段階等の実態を踏まえることが求められる。

○ **必ず知っておかなければならないことを確認させるための一声指導**

(例) 「一時不停止、二人乗り、傘差し運転は、道路交通法で禁じられています。」

○ **適切な意思決定や行動選択ができるように、意味を考えさせるための一声指導**

(例) 「二人乗りや並進には、どのような危険があるか、考えてみましょう。」

(3) 一声指導の蓄積、整理

学校生活の中で随時発生する安全上の問題について、必要に応じ適時、適切な指導を行うことができるよう、学年や学校で「一声指導」を蓄積し整理しておくとうい。

1 ねらい

児童・生徒等に「必ず指導する基本的事項」の内容を通して、どのような資質・能力を育てるのか、ねらいを明確にする。

必ず指導する基本的事項のどの内容をねらいとしますか。

2 時期

この時期は、雨で下校が心配だ。

防災訓練が終わって1か月経った。

気候が変化する時期に照らして…

定期的な安全指導の後に…

事件・事故が発生した時期に…

取組強化月間(週間)に…

昨年度は不審者情報が多かった。

交通安全運動の時期に合わせて行おう。

3 内容

2の時期で想定した場面を踏まえ、「必ず知っておかなければならないことを確認させるための一声」、「適切な意思決定や行動選択ができるように意味を考えさせるための一声」を考える。

本書「10 一声事例」の各校種の最後のページに、考えた一声を記入できるシートを掲載しているので、活用されたい。

4 蓄積・共有

一声指導として適切な声掛けを、日頃から考えるようにします。

考えたことや、指導した声掛けを週ごとの指導計画等に取り留めておきます。

作成

蓄積

共有

蓄積した一声指導を、学期ごとに学年や学校内で共有できるようにします。

活用

共有した一声指導を、場や機会を捉えて活用します。

学校における安全教育とプログラム

安全教育で身に付ける力

安全教育の3領域

必ず指導する基本的事項

安全教育の確実な実施のために

安全教育の計画

安全教育の評価

安全教育の計画例

実践編

実践事例一覧

生活安全における実践事例

交通安全における実践事例

災害安全における実践事例

一声事例(校種別)

資料編